

金融庁主催オンラインシンポジウム

「金融経済教育と資産形成の未来 ～新型コロナウイルスの影響を踏まえて～」に 日本銀行・若田部副総裁が参加！

本年6月20日（土）、金融庁主催オンラインシンポジウム「金融経済教育と資産形成の未来～新型コロナウイルスの影響を踏まえて～」が開催され、今後の金融経済教育のありかたや国民の安定的な資産形成といったテーマについて活発な議論が交わされました。その模様は、オンラインによりライブ配信され、全国から多数の方が視聴されました。



シンポジウム冒頭、安田洋祐准教授（大阪大学）の司会の下、金融庁の遠藤俊英長官（当時）と日本銀行の若田部昌澄副総裁（金融広報中央委員会委員）の基調対談が行われました。

若田部副総裁は、「金融経済リテラシーは、読み書き算盤同様、人生設計の基礎として、広く万人に必要」と述べ、金融広報中央委員会の活動を紹介しながら、「あまり身構えずに、クイズ形式などを通じて楽しんで学ぶこと」

の重要性を強調しました。また、昨今の新型コロナウイルス感染症を踏まえ、「オンライン教育の重要性は高まっており、質疑応答など双方向のコミュニケーションを取り入れるなど、一層の工夫が求められる」と指摘しました。

金融庁の遠藤長官からは、同庁の金融経済教育への取組みの紹介があり、「国民の安定的な資産形成に資するよう、関係者と連携して、金融リテラシーの向上を図っていくことが大切」と語りました。

基調対談の様様



安田洋祐准教授（大阪大学）

若田部昌澄副総裁

遠藤俊英金融庁長官（当時）

シンポジウムの模様は、金融庁のWEBサイトで動画が配信されていますので、ぜひご覧ください。
https://www.fsa.go.jp/news/r2/sonota/kyouiku_symposium.html

